

## 成果の説明書

(氏名) 野崎謙二	(学部) 経済学部
<p>1 重要事項</p> <p>(1) 研究論文</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・論文“Recent Decrease of Regional Disparity within Thailand”を執筆・投稿し、‘Business and Management Studies’第4巻第2号に掲載された。</li></ul> <p>(2) 学会報告</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2018年5月に開催された国際地域学会第12回世界大会(於：インド)において、“Analysis on the structure of intra-regional trade in the Greater Mekong Sub-region”をテーマに報告した。</li><li>・2018年10月に開催されたEast Asian Economic Association(東アジア経済学会)第16回国際大会(於：台湾)において、“Production network of automobile industry in the Greater Mekong Sub-region”をテーマに報告した。</li></ul>	
<p>2 その他の事項</p> <p>(1) 学会活動等</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・日本地域学会理事として、学会の運営に貢献した。</li><li>・上記国際地域学会第12回世界大会において、‘Globalization and Regional Science’をテーマとするサブ・セッションの座長を務めた。</li><li>・2018年10月に開催された日本地域学会第55回年次大会(於：札幌)において、特別セッション「東アジア地域の経済開発」をオーガナイズし、座長を務めるとともに、「インフラ供給におけるPublic Private Partnershipの活用とリスクアロケーション」をテーマとする報告に対して討論者を務めた。また、‘The Challenges in the Region’セッションにおいて座長を務めるとともに“Challenges of Developing Innovation Districts in Thailand”をテーマとする報告に対して討論者を務めた他、特別セッション「地方財政理論の進展」において、“Linkage of Intergovernmental Transfer and Delegation of Power”をテーマとする報告に対して討論者を務めた。</li><li>・上記東アジア経済学会第16回国際大会において、“Does agglomeration and urban amenity improve the labor productivity in LDC? The case of Lao PDR”をテーマとする報告に対して討論者を務めた。</li><li>・2018年7月に開催されたヴロツワフ経済大学との国際交流シンポジウム「アジアとヨーロッパの経済交流」において、“Deepening of production integration in East Asia with economic development”をテーマに基調報告を行った。</li></ul> <p>(2) 教育活動</p> <ul style="list-style-type: none"><li>・2018年7月に出前授業「国際経済の現場で起きていること」を実施した(於：群馬県太田市立太田高等学校)</li><li>・2018年教員免許更新講習(8月)において、「東南アジア諸国連合の経済動向」をテーマに講義を実施した(於：高崎経済大学)。</li><li>・タイのチェンライ県にあるメーファールアン大学において、客員教員として‘Japanese Economic Development’をテーマとして集中講義を実施した(2018年8～9月)。</li><li>・演習担当教員企画による海外フィールドワークをラオスにおいて実施した(2019年</li></ul>	

3月)。

(3) その他

・第35回高崎経済大学公開講座「現代社会への多面的アプローチ」において、「タイ経済と日系企業」をテーマに講演を行った(2018年11月)。

3 次年度以降の計画・抱負

(1) 教育

・国際学科が発足して3年目になり、初めてのゼミ生が3年次となるので、ゼミ生の卒業後の進路を見据えた演習を進めていく。また、ゼミ単位で実施する海外フィールドワークについては、2019年3月にラオスで実施した経験を踏まえ、さらに学生の視野を広めるべく、タイでの実施に向けて準備を進めていく。

(2) 研究

・引き続き拡大メコン地域を中心とした東南アジアを対象にして、経済連携の進展状況や、経済政策の効果について研究を続けていくこととしたい。特に、2018年度に学会報告をした研究成果を改善し、論文という形に仕上げていきたい。

・本学地域科学研究所のプロジェクトである「地方都市における中小製造業の海外進出に関する研究」では、自らが担当する企業について、高崎市における地場企業の活動状況や対外進出などの調査に取り組むこととする。